

世田谷版気候市民会議 (2024年度実施)

第3回 区への政策提言をとりまとめよう！

2025年3月2日(日) 13:00～16:30
世田谷区立教育総合センター 研修室(たいよう)

開 会

【会議のゴール】

- ✓ 「脱炭素化しながらも暮らしやすい世田谷区」の実現に向け、身近な暮らしの脱炭素化のための行政の取り組みを「政策提言」としてまとめます。

【成果の活用方法】

- ✓ 提言の内容を精査したうえで、「家庭部門脱炭素化ロードマップ」に反映するとともに、区民全体への波及を狙います。



- ✓ 区長になったつもりで検討してみましよう！

第1回

気候危機についての理解を深めよう！



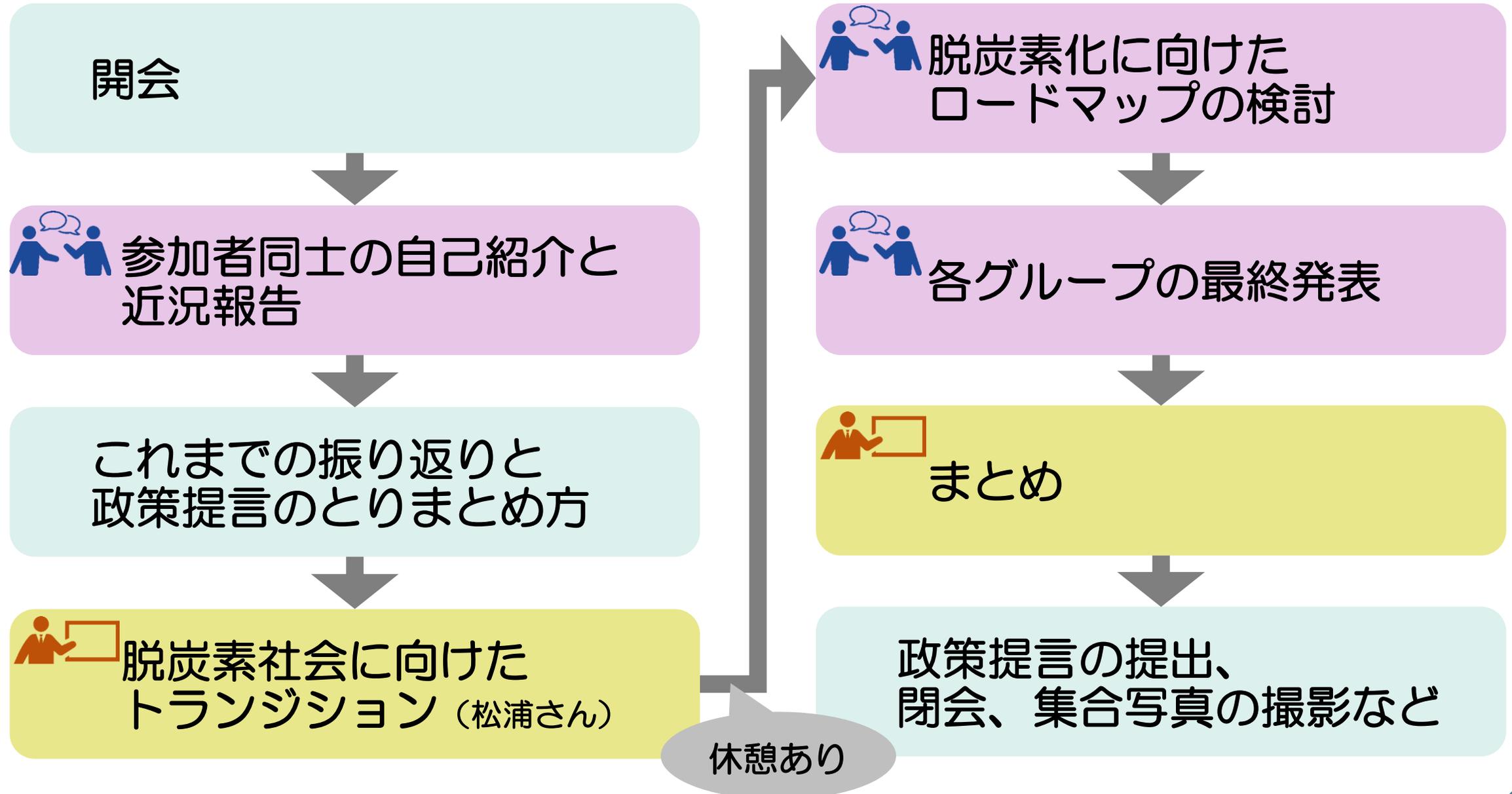
第2回

暮らしの脱炭素化について考えよう！



第3回

区への政策提言をとりまとめよう！





参加者同士の 自己紹介と近況報告

個人でできる取り組みを実践してみる

4つのテーマの読み替え方（人それぞれ違ってOKです！）

テーマ① 住宅への太陽光発電設備の設置促進

→1度載せてしまえば昼間はタダの電気を使い放題！

→夏に気兼ねなく冷房をガンガン効かせられる！

→停電の時も電気が使える安心感！

テーマ② 再エネ電気への切替え促進

→自分の家の屋根に太陽光がなくても自然

→賢く電気を使えば電気代が安くなるの

テーマ③ 住宅の省エネ改修促進

→断熱・気密工事は1度やれば冬暖かく夏

→省エネ設備（特に給湯機）に更新して電

テーマ④ 区民の省エネ行動変容の働き

→ムダのある生活がなんかイヤ ミニマム

→効果のある省エネ行動で電気・ガスを

家の新築・改修でできる本格的な対策

熱と空気の勝手な出入りを防ぐ

断熱・気密



少しの電気です室内を健康・快適

高効率



自然エネでタダの電気

太陽光発電

健康快適で電気代も安心を実現する
新築ならキレイにコスパよくでき
既存住宅でも性能向上リノベが

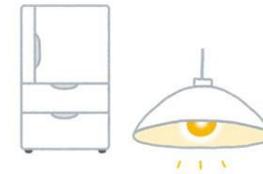


家の工事をしなくてもできる手軽な対策

まずは
電気・ガス・水道の
検針票を確認！



長時間使う
冷蔵庫や照明を
省エネ型に買替



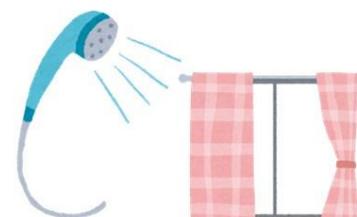
温水便座のヒーター
冬以外はOFF！



給湯器
故障したら
高効率形に



節湯は
節水にもなり
コスパ良！



カーテンで
冬の断熱
夏の遮熱

エコロジーな電気に
切り替えもGOOD！



56

【お話頂く内容】

- ✓ 呼ばれたいお名前
- ✓ 会議に参加して変わったこと（又は宿題についての感想）
など

【順番・時間】

- ✓ ファシリテーターから順に時計回り
- ✓ 1人1分程度

終了時刻
13:10

これまでの振り返りと 政策提言のとりまとめ方

身近な暮らしの脱炭素化のための4つのミッション 世田谷版気候市民会議

ミッション① 太陽光発電設備の設置

2050年
目標

既存住宅において最大限太陽光発電設備が設置されている

ミッション② 再生可能エネルギー電力への切替え

2050年
目標

全ての家庭で再生可能エネルギーの電力が使われている

ミッション③ 住宅の省エネ改修

2050年
目標

区内の全ての住宅が家族の健康に資する省エネな建物に改修されている

ミッション④ 脱炭素行動変容

2050年
目標

日常の様々な場面※で、環境負荷が意識されており、行動につながっている

※移動・消費・レジャーなど

第1回

身近な暮らしの脱炭素化に関する問題点とその原因・障壁

第2回

原因・障壁に対する取り組み

第3回

取り組みを拡大波及させるためのロードマップ（工程表）

政策提言

- ✓原因・障壁
- ✓取り組み
- ✓ロードマップ

ミッション① 太陽光発電設備の設置に関する取り組み

※配付資料3「提言」より一部抜粋・編集

(1) 太陽光発電のメリットや意義を理解してもらう

- ✓ターゲットを絞ってダイレクトメール（DM）を送付する、チラシを入れる
- ✓設置することのメリットなどをテレビやSNS、動画共有サービスなどでPRする
- ✓定期的に各地域で出張説明会を開催する

(2) 太陽光発電の環境や社会に対する良い面・悪い面をバランスよく理解してもらう

- ✓環境や社会に対する悪い面の正しい情報を発信する、Q&Aを公開する
- ✓SNS上の誤情報に対し、コミュニティノート（誤解を招く可能性がある投稿の下に、ユーザーが匿名で背景情報を追加できるXの機能）などで訂正する

(3) メリットや意義を知っている人に設置に向けて動き出してもらう

- ✓区の施設や見えやすい建物に設置して普及していることをPRする（同調圧力が高まるような見せ方をする）
- ✓自治会などの地域単位で共同で設置できるようにする
- ✓初期費用無料の設置方法をPRする、事業者に対し、収支のシミュレーション結果を提示するように働きかける
- ✓不動産検索サイトに太陽光発電設備の設置の有無、購入者や入居者へのメリットの情報を入れるように働きかける

(4) 全員が自分に合う条件の製品やサービスを見つけられるようにする

- ✓太陽光発電設備の販売や設置、診断のライセンス制度、認定制度をつくり、信頼できる事業者を選べるようにする
- ✓事業者と連携し、耐震補強やリフォームと同時に設置することを呼びかける
- ✓賃貸物件などに設置することに対し、法人や賃貸オーナー、入居者にそれぞれメリットがあるルール作りをする

ミッション② 再生可能エネルギー電力への切替えに関する取り組み ※配付資料3「提言」より一部抜粋・編集

(1) 再エネ電力の内容や意義を理解してもらう

- ✓ ターゲットを絞ってPRする（子持ちの区民など）
- ✓ 切替え前の電力プランと再エネ電力のプランを比較できるWEBサイトを作る
- ✓ 科学的知見をもとに再エネ電力の意義を発信する（検針票にCO₂排出量を記載するなど）
- ✓ 小中学校の調べ学習や授業参観などを通じて親世代の理解を促す、セミナーを開催する

(2) 再エネ電力の環境や社会に対する良い面・悪い面をバランスよく理解してもらう

- ✓ 科学的知見をもとに環境や社会に対する良い面と悪い面の正しい情報を発信する（WEBサイトやチラシなど）
- ✓ 学校でSNSの利用方法に関する教育を行う（誤情報の見分け方など）
- ✓ 環境に対する取り組みをカジュアルにする

(3) 内容や意義を知っている人に切替えに向けて動き出してもらう

- ✓ 切替え方法をSNSなどで発信する、チャットボットなどで質問に回答する
- ✓ 切替えに対するインセンティブを用意する
- ✓ 引っ越しのタイミングで切替えを呼びかける（不動産会社や引っ越し業者との連携、住民票変更手続き時のPRなど）

(4) 全員が自分に合う条件の電力プランを見つけられるようにする

- ✓ 家族で参加するようなイベントに出展する（住宅展示場など）
- ✓ YES・NOの選択式で回答していくと個人にあった電力プランを見つけられるWEBサイトを作る
- ✓ 行政が個人にあった電力プランを紹介できるようにする

ミッション③ 住宅の省エネ改修に関する取り組み

※配付資料3「提言」より一部抜粋・編集

(1) 省エネ改修のメリットや意義を理解してもらう

- ✓ターゲットを絞ってPRする（子持ちの区民など）
- ✓改修することのメリットなどを区のホームページや区報に分かりやすく載せる（図表を増やす、助成金のアイコンを付けるなど）
- ✓住む人の健康に良いことや資産価値が向上することなどのメリットを強調してPRする
- ✓小中学校の授業で気候変動問題と住宅の関係性などを教える、子どもを通じて親世代の理解を促す

(2) メリットや意義を知っている人に改修に向けて動き出してもらう

- ✓メリットとデメリットを可視化し、やらないリスクを強調してPRする（行動経済学的手法）
- ✓無料で省エネ診断する、専門家を派遣する
- ✓住宅に関する相談会や改修の体験談を聞く場を設ける（町内会の活用やイベントへの出展など）
- ✓耐震改修とセットで省エネ改修を呼び掛ける

(3) 全員が自分に合う条件の工事内容やサービスを見つけられるようにする

- ✓事業者を比較できるWEBサイトを作る（優良な事業者のみ掲載する、事業者を点数付けする、選択肢を減らし選びやすくするなど）
- ✓信頼できる事業者であることを理解してもらうため、事業者と行政が連携した窓口を設置する、行政が仲介して事業者へ一括で見積りをとる
- ✓賃貸物件などを改修することに対し、法人や賃貸オーナーにもメリットがあるルール作りをする（オーナーへの助成制度など）

ミッション④ 脱炭素行動変容に関する取り組み

※配付資料3「提言」より一部抜粋・編集

(1) 気候変動問題に懐疑的、楽観的な人に正しい知識を持ってもらう

- 事業者と連携してPRする（事業者への資金援助、関連商品の販売など）
- 個人のカーボンフットプリントを計測するように促す（ポイント付与など）
- 地球温暖化が個人に与える影響を具体的に発信する
- 小中学校で環境教育を必修にする、啓発のプリントを配布する
- ワークショップ型のイベントを開催する（幅広い年代と関われる場、政策に対する意見を出せる場、提案に対するポイント付与など）
- モデル地区を設けて体感してもらう
- N1分析（特定の1人を深く観察・ヒアリングし、その行動や感情から本質的なニーズや課題を導き出す手法）から原因を特定して取り組みを検討する

(2) 脱炭素行動の具体的な内容や効果を理解し、行動に移してもらう

- 脱炭素行動の内容や効果をテレビや動画共有サービスでPRする
- イノベーター理論をもとにした戦略を立てる
- マーケティング会社と連携してPRする（特設サイトの作成、脱炭素行動に名前をつけて発信など）
- あまり意識しなくても情報を得られる方法でPRする（YES・NOの選択式で回答していくと個人にあった脱炭素行動を見つけられるWEBサイトなど）
- 楽しみながら脱炭素行動ができるアプリをつくる（効果の見える化、正しく理解していなくても自然と行動できる仕掛け、ポイント付与など）
- 事業者と連携して、経済的に得なもの、便利なもの、美容に繋がるもの、カッコ良いもの（ステータス）を提供する

政策提言のといまとめまでの流れ

参加者

事務局

第1回会議 (1/26)

第2回会議 (2/16)

第3回会議 (3/2)

政策提言 (案) の作成

本日暫定版を
提出します!

書面での確認 (3月中旬)

政策提言の修正

提言書 (完成) ⇒ 世田谷区へ提出



脱炭素社会に向けた トランジション (松浦さん)

スライド切り替え



講演を聞いた 感想と質問の共有

【感想】

✓先ほどの講演に対する感想

など

【質問】

✓この会議を進めるに当たり、質問しておきたいこと

など



✓後ほど、松浦さんに質問できます。
(本人又はグループの代表者から口頭で質問)

終了時刻
13:50

講演に対する質問と回答 (5分間)

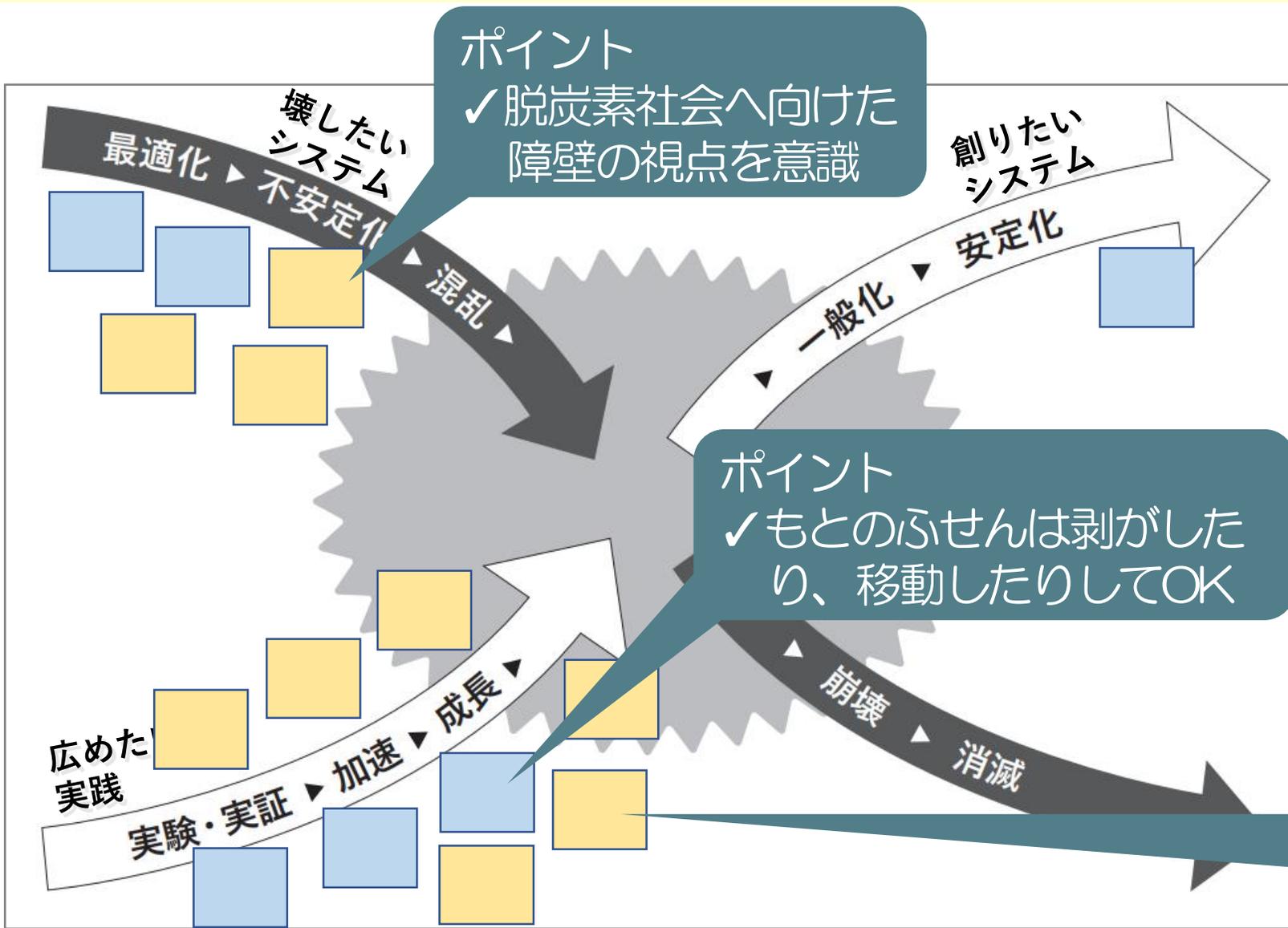
休 憩
(14:05まで)



身近な暮らしの脱炭素化に 向けたロードマップの検討

項目	第1回～2回 (これまで)	第3回 (今日)
取り組みの 視点	✓ <u>身近な生活</u> を振り返り ながら考えた取り組み	✓ 将来の <u>脱炭素化された世田 谷区</u> (=今とは全く異なる社会)を思い描きながら 必要と考えられる取り組み
取り組みの 内容	✓ <u>コツコツ</u> とした取り組み	✓ <u>実験・実証的な</u> 取り組み ✓ それを <u>社会のあたり前にす る</u> (=広げる・波及させ ていく)ための取り組み

グループワークの成果のイメージ



■ 第2回会議までの成果
(特にトランジションに関わりそうなもの)

■ 壊したいシステム (追加)
広めたい実践 (追加)

ポイント
✓障壁を乗り越えるための実験や実証の視点を意識
✓広げる、波及させるための段階、順序を意識

グループワークの検討テーマ

※詳細は、配付資料4参照

世田谷版気候市民会議

グループ	検討テーマ	提言との対応関係
①太陽光発電-1	メリットや意義の理解	(1) メリットや意義を理解してもらう (2) 環境や社会に対する良い面・悪い面をバランスよく理解してもらう
①太陽光発電-2	設置の促進	(3) 設置に向けて動き出してもらう (4) 全員が自分に合う条件の製品やサービスを見つけられるようにする
②再エネ電力-1	内容や意義の理解	(1) 内容や意義を理解してもらう (2) 環境や社会に対する良い面・悪い面をバランスよく理解してもらう
②再エネ電力-2	切替えの促進	(3) 切替えに向けて動き出してもらう (4) 全員が自分に合う条件の電力プランを見つけられるようにする
③省エネ改修-1	メリットや意義の理解	(1) メリットや意義を理解してもらう
③省エネ改修-2	改修の促進	(2) 改修に向けて動き出してもらう (3) 全員が自分に合う条件の工事内容やサービスを見つけられるようにする
④行動変容-1	正しい知識の普及	(1) 気候変動問題に懐疑的、楽観的な人に正しい知識を持ってもらう
④行動変容-2	行動の促進	(2) 脱炭素行動の具体的な内容や効果を理解し、行動に移してもらう

【まずは個人で】

- ①-1 化石燃料社会の「システム」を考える
 - ✓ 脱炭素社会へ向けた障壁
- ①-2 脱炭素社会へとつながる「実践」を考える
 - ✓ 障壁を乗り越えるための実験・実証的な取り組み
 - ✓ それを社会のあたり前にする（＝広げる・波及させていく）ための取り組み
- ② 考えたら、その内容をいせんに書く
 - ✓ 1枚にひとつずつ書く
 - ✓ 伝えたいことが分かるように書く
(例：「●●が▲▲になっている」 「●●を▲▲する」)

【次はグループで】

- ③いせんに書いた内容を貼りながら皆さんにお話しする
 - ✓1人ずつ順番に
 - ✓最初は1人1分程度を目安に
 - ✓似たような「システム」や「実践」が出てきたら近くに貼る
- ④自由に意見交換する
 - ✓いろいろな人の意見を聞きながら、「システム」や「実践」を膨らませていく
 - ✓追加したいものがでてきたらいせんに書いて貼る
- ⑤最後にいせんの位置などを整理する

- ✓ 対話はキャッチボール。
短く話そう、よく聴こう！
- ✓ 途中で遮らない。最後まで聴こう！
- ✓ 違って当然。違いこそ可能性！
- ✓ 寄り道もOK！
でも、何の話し合いが忘れずに。



時間：1グループ2分以内ずつ

方法：✓ 会場の前に模造紙を貼る
✓ 模造紙の前で発表
✓ 1人でも複数人でもOK！

発表いただく内容：

- ✓ 特に印象に残った内容、他のグループに伝えたい取り組みなど
- ✓ 全体像をお話いただいてもOK！

模造紙の内容をもとに提言を作成するため、
説明が漏れても問題ありません

グループワークの時間配分とゴール

(左上) 化石燃料社会の「システム」
(脱炭素社会へ向けた障壁) を考える
・・・20分

- ①個人でふせんに書く ⇒3分間
- ②貼りながらお話する ⇒1分×人数
- ③自由に意見交換する ⇒約10分

(左下) 脱炭素社会へとつながる
「実践」を考える
・・・25分

- ①個人でふせんに書く ⇒3分間
- ②貼りながらお話する ⇒1分×人数
- ③自由に意見交換する ⇒約15分



まずはここまで

最初に発表者の決定をお願いします！ ⇒約5分

- ✓障壁を乗り越えるための実験・実証的な取り組み
 - ✓それを社会のあたり前にする (=広げる・波及させていく) ための取り組み
- これらが段階、順序を意識して貼り出された状態

本日の
ゴール

前半終了時刻
15:00

中間講評 (松浦さん)

グループワークの時間配分とゴール

(左上) 化石燃料社会の「システム」
(脱炭素社会へ向けた障壁) を考える
・・・20分

- ①個人でふせんに書く ⇒3分間
- ②貼りながらお話する ⇒1分×人数
- ③自由に意見交換する ⇒約10分

(左下) 脱炭素社会へとつながる
「実践」を考える
・・・25分

- ①個人でふせんに書く ⇒3分間
- ②貼りながらお話する ⇒1分×人数
- ③自由に意見交換する ⇒約15分

【後半】

中間講評

- ③自由に意見交換する (続き) ・・・約40分
- ④最後にふせんの位置などを整理する ・・・約5分

✓実験・実証的な取り組み
✓それを社会のあたり前にする (=広げる・波及させていく)
ための取り組み
これらが段階、順序を意識して貼り出された状態

本日の
ゴール

終了時刻 15:50

各グループの最終発表

- ✓ 「①太陽光発電-1」 ⇒ 「①太陽光発電-2」
⇒・・・⇒ 「④行動変容-2」の順
- ✓ 1グループ2分以内ずつ

(下記のプレートを出します)

残り30秒

終了



まとめ (松浦さん)

政策提言の提出と 世田谷区長からのメッセージ



世田谷区
SETAGAYA CITY

世田谷版気候市民会議 (2024年度実施)

閉会、事務連絡、 集合写真の撮影

参加者

第1回会議 (1/26)

第2回会議 (2/16)

第3回会議 (3/2)

事務局

政策提言 (案) の作成

書面での確認 (3月中旬)

政策提言の修正

提言書 (完成) ⇒ 世田谷区へ提出

ご協力をお願いします!

ボトムアップの活動を実践してみる

- ✓ 本日（第3回）、ゼロカーボンへの転換を進めるための活動がいくつか挙がってきたと思います。
- ✓ そのなかで、区民として進めるべき活動を思い出し、ボトムアップの活動として実践して頂きたいと思います。
- ✓ 1人での実践が難しいものは、会議参加者同士で連絡を取り合い、連携して頂くのも良いと思います。
- ✓ もちろん、行政（世田谷区）も協力します！

- ✓ アンケートにご協力をお願いします。
（スマートフォン利用の場合の回答期限：3月5日〔水〕）
- ✓ 名札は外してテーブルに置いたままをお願いします。
- ✓ この場で謝礼をお渡しします。
おかけになったままお待ちください。
受取票への記入をお願いします。
- ✓ 集合写真をとりますので、アンケートへの記入、報酬の受け取りが終わった方から順に、貴重品を持って会場前方へ移動をお願いします。